

とことこ通信

平成28年11月30日
ときわ・ことり保育園

11月は“教育月間”です。11月2日(水)に、園付近のゴミ拾いをゆり組の園児と職員が行ないました。この取り組みは「子どもの自主性、自立性の育成」を重点テーマとし、「しつけ」や「自然体験」の一環として働きかけました。
軍手を身に付け、ビニール袋を手にとると、元気一杯、保育園を出発・・・。

◎ゴミ拾いを始める前に子ども達は

- ・ドキドキする
- ・きれいにしたい
- ・たくさん拾いたい



と、はりきっていました。いざ始まると“ペットボトルあった”、“お菓子の袋もある”など、拾っては保育者に見せてくれました。“こんな所にもある”“あんな所にもある”など、歩道の植え込みの下や、草の間にまで手をのばし、細かいところにも気を配っておりました。
全員一生懸命に拾ったゴミは、大袋2袋にもなりました。

◎終了後、どういう気持ちになったか聞いてみました。

- ・気持ちいい
- ・うれしい
- ・また、やりたい

と、すっきりした顔で感想を話してくれました。

また、家での様子も「ゴミは外に捨ててはいけないよね」「どこかにゴミが落ちていると拾うようになりまし

た」などの見聞がかわったと保護者の方から聞かせていただきました。
これを機会に、普段の生活の中で、“大切・うれしい”ということをたくさんみつけられるよう、そして素直に表現出来る環境を作っていけるよう努めて参ります。

